

鍛錬坂



奈留高
校だより
第 92 号

鍛錬坂をのぼり終えた君たちへ

校長 下 釜 祐 保



一生のうちに一度は読んでおきたい本の一つに、歴史作家、司馬遼太郎氏の『坂の上の雲』を推薦したい。

著者はその“あとがき”に、「このながい物語は、その日本史上類のない幸福な楽道家たちの物語である。(中略)楽道家たちは、そのような時代人としての体質で、前をのみ見つめながらある。のぼってゆく坂の上の青い天にもしー朶の白い雲がかがやいているとすれば、そののみをみつめて坂をのぼってゆくであろう。」と記している。欧米諸国に追いつこうとして近代化を推し進める明治日本。そこに生きる人々が、目の前に浮かぶかがやく雲(夢)のみを見つめて近代化という坂を上り、突き進んでいった歴史小説である。

奈留高は、文字通り「坂の上の学び舎」である。そこに学ぶ生徒たちが、目の前の夢のみを見つめて、鍛錬坂という坂をのぼり、「小さな島の大きな挑戦」なるキャッチフレーズを連呼し突き進んだ青春の物語。私にはこの2つが重なるのである。

明日は卒業式。鍛錬坂をのぼり終える君たちには、類ない幸福な楽天的物語であったに違いない。

本校で過ごした3年間は、約千日。宮本武蔵の言「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」が自ずと浮かぶ。鍛錬坂をのぼり終え、奈留島での教育を終えた君たちは「鍛」から万日の「錬」へとステージは進む。それぞれの人生に次なる「鍛錬坂」があろう。随に染みたキャッチフレーズを口々に、本校の卒業生としての誇りを持ち、生涯、かがやく雲を見つめて励んでほしい。

「息災にて、活躍を」と祈る。

3月の行事予定

1日(土) 卒業証書授与式	19日(水) 合格者発表
3日(月) 第2回学校評議員会	20日(木) 競技大会
8日(土) 土学⑩	合格者説明会
11日(火) 入学者選抜検査	21日(金) 春分の日
12日(水) 入学者選抜検査	24日(月) 終業式 離任式
17日(月) 容儀検査	1・2年早朝補習(後期)終了 通知表発送

1学年より

1学年最後の考査が終了しました。日々の授業や家庭学習、考査前の放課後学習会での成果は十分に発揮できたでしょうか。今月は1学年最後の1カ月です。この期間は、新学年に向けて既習事項の積み残しをゼロに近づける絶好のチャンスです。この1年を振り返れば、「次から次に学習すべきことが出てきて、全てを吸収する間はなかった…」というのが本音ではないでしょうか。全員が多かれ少なかれそう感じていることと思います。しかし、積み残しをそのままにして進級すれば、「わからないこと」は雪だるま式に大きくなっていきます。今がチャンスです。そういえば、こんな話も聞きます。「チャンスの神様は前髪しかない。だから…」ご家庭におかれましても、新学年に向けて今一度卒業後の進路についてお子様とお話しいただきますようお願いいたします。

2学年より

まだまだ寒い2月の校舎は、3年生が自宅学習期間に入ってしまったことで、いつもより随分静か。寒さが、そして寂しさがいやでも増します。世間はソチオリンピックで大盛り上がり、奈留高2年生は、本年度最後の就職模試や進学模試、そして1年間の集大成、学年末考査で学業一色(!?)の1ヶ月間でした。ソチオリンピックといえば、学級日誌にも競技結果に関する生徒たちのコメントが連日寄せられました。高梨沙羅選手、羽生結弦選手など、歳の近い選手の活躍ぶりに強い感銘を受けたようです。華々しい活躍の、その結果だけでなく、それまでの辛くて長い努力の日々にも是非思いを馳せてもらいたいと思います。「技術的な成長より、精神的な成長が勝ちにつながった」羽生結弦選手のコメントです。最終的に勝利を手にするのはより心の強い者、ということなのでしょう。来るべき勝負の学年に向け、心も鍛えておきたい3年0学期です。応援よろしくお祈りします。

3学年より

3年生は2月から家庭学習期間です。卒業後のそれぞれの新生活に向けた準備期間として、各自で計画を立てて有意義な毎日を送っています。今年度は、「奈留島を離れる前に、何か恩返しをしたい」という思いから、島内の清掃活動にも取り組みました。連日の厳しい寒さの中での活動でしたが、みんな和気藹々と楽しそうに取り組んでいました。ずっと一緒に育った仲間と過ごす残りわずかな日々、この清掃活動も生徒たちにとって良き思い出の1ページになるでしょう。

明日はいよいよ卒業式です。高校生活最後の大舞台を、最高の晴れ舞台にします。



事務室より証明書について

3年生の皆さん、いよいよ卒業ですね。おめでとうございます。
さて、卒業後に卒業証明書や成績証明書などが必要になった場合、通常は事務室窓口で発行手続きをしていただきますが、島外から郵送を希望される場合は次のよう
にお願いします。

- ①まず学校に電話して内容を伝える。
- ②住所・氏名（旧姓）・電話番号・生年月日・卒業年月日・希望する証明書名と部数を紙に書く。
- ③郵便局で350円×証明書の部数の金額の「郵便小為替」を作ってもらう。
- ④封筒に届け先の住所氏名を書き、返信用の切手（速達等の場合必要な料金）を貼る。
- ⑤運転免許証や保険証などの本人確認ができるもののコピーをとる。
- ⑥上記の②③④⑤を同封して学校へ郵送する。

以上、よろしくお願ひします。

防犯教室

2月12日(水)に全校生徒で防犯教室を行いました。
五島市役所より講師の宮脇隆二様をお招きして、護身術を体験しました。護身術とは、相手を倒すことではなく、逃げるための隙を作る方法であることを学びました。特に3年生は、卒業後は奈留島を離れて生活しなければなりませんので、もしもの時に備えて真剣に取り組みました。生徒代表挨拶では「知っていることと、やれることは違うものである。今回の体験を活かして、もしもの時に役に立てたい」と述べました。



奈留高職員 ペンリレー

種川 彰子

ひょんなことからガーデニングを始めました。まずは「初心者でもできる」と聞いたパンジーの寄せ植えから。すぐに葉が4割ほど枯れました。日に日に元気をなくしていくパンジー。焦る私。水を与え、肥料を与え、晴れる！と天を睨み…。もはや葉はぼろぼろになり、私が夢見ていた「オシャレな寄せ植え」の姿は見るともありません。しかし、花は咲くのです。数日暖かい日が続くと「待ってました」とばかりに次々と。土の中で力を蓄え、機をうかがっているのでしょうか。小さな花に大切なことを学んだ私のガーデニング修行はまだまだ続きそうです。



家庭科 保育園実習（2年1組）

2年生7名が、「児童文化」の授業の一環として、さくら保育園で保育園実習を行いました。

まず初めに、手遊び歌やペープサートを披露し、その後、手作りおもちゃで子どもたちとふれあいました。日頃小さな子どもと接することの少ない生徒たちにとって、大変有意義な体験となりました。

ご協力くださいました保育園の皆様ありがとうございました。



小中高一貫教育研究発表大会

2月7日(金)に、奈留島にて、奈留地区「小中高一貫教育」研究発表会が行われました。市内外から大変多くのご来賓や学校関係者、保護者、地域の方々にご参加いただいていた行われた本会では、まず最初に奈留小中学校と奈留高等学校で公開授業を行い、子どもたちの生き生きとした姿を見ていただきました。その後、場所を奈留離島総合開発センターへ移し、全体会を行いました。この全体会では前回(平成21年度)発表以後の第1期後半の総括と、第2期の取り組みについての発表を行いました。まず始めに五島市教育委員会教育長の清水肇一郎様に関会のご挨拶を賜り、次にご来賓の方々を代表して長崎県教育庁総務課県立学校改革推進室係長の立木英邦様にご挨拶をいただきました。続いて、概要説明と部会研究発表(国語・算数数学・英語・奈留実践)、(三人行事・健康・調査広報・部活動・キャリア教育)を行いました。限られた時間でしたが、それぞれの部会でこれまで取り組んできたことを発表しました。最後に長崎県教育庁義務教育課義務教育班指導主事の松尾勉様にご指導ご助言をいただき、キャリア教育について丁寧な解説をしていただきました。そして最後に「全員が夢を叶えることはできないかもしれないが、夢に近づくことはできる。」と奈留島の子どもたちへ力強いメッセージをいただきました。

当日はお足元の悪い中、たくさんのご参加をいただきましてありがとうございました。今後も奈留地区小中高一貫教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

